

C'est Quoi la Vie?

1999年サンセバスチャン映画祭グランプリ受賞

# うつくしい人生

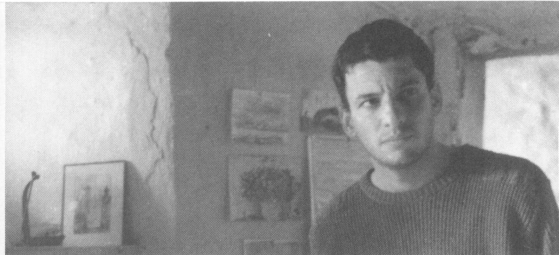
フランソワ・デュベイロン監督

エリック・カラヴァカ

イザベル・ルノー

こ  
こ  
で  
、  
生  
き  
る  
。





力を抜いて 自然に息を吐くだけ  
ほら 歌えるでしょう


# うつくしい人生



C'est Quoi la Vie?

そこには、やわらかな朝の光が満ちていた。

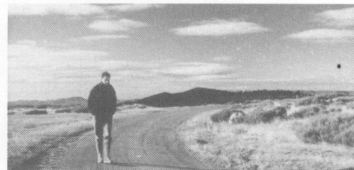
南フランスの田舎町。牧畜を営む一家の息子ニコラは、このまま農場にとどまるべきか迷っていた。都会への漠然とした憧れを抱きながら、友人や家族に囲まれて淡々と日々は過ぎていく。そんなある日車で街へ出かけたニコラは、かつてオペラ歌手であったマリアという女性を送ることになる。おだやかな気品をたたえた彼女との数時間。一度きりの出会いと知りながら、ニコラは恋に落ちてしまう。一方、膨大な借金を抱えた家族は、次第にはなればなれになっていく。農場と家族。慣れ親しんでいたものたちが崩れていくとき、平凡に生きることさえ難しい。どん底を知って初めて本当に大切なものの存在に気付くニコラ。そのとき彼の心に浮かんだのは、村はずれの山にある古い祖母の生家だった……。

監督・脚本:フランソワ・デュベイロン 出演:エリック・カラヴァカ、イザベル・ルノー、ジャック・デュフィロ、ジャン・ピエール・ダルッサン 撮影:テツオ・ナガタ  
音楽:ミシェル・ポルタル、ブライアン・ヤマコシ  
美術:ハトリック・デュラン 製作:モーリス・ベルナル  
原題:C'est quoi la vie? / 1999年 / フランス / 35mm / カラー / シネマスコープ  
ドルビーSR / 1時間55分 / 字幕翻訳:細川直子  
配給:プレノンアッシュ  <http://www.prenomh.com>

1999年サンセバスチャン映画祭  
グランプリ受賞・OCIC賞(特別賞)受賞・最優秀男優賞受賞(ジャック・デュフィロ)  
2000年セザール賞  
最優秀新人男優賞受賞(エリック・カラヴァカ)・最優秀助演男優賞ノミネート(ジャック・デュフィロ)

雄大な南仏の風景が、豊かな感性をあびてひととき輝く。カトリース・ドヌーヴ、ジェラルド・バルデュエを迎えた『夜のめぐり逢い』(88)で長編デビューを果たした、フランス映画界の新星として期待を集めた監督、フランソワ・デュベイロン。いくつかの作品を撮ったのち長い沈黙に入った彼は、以前から抱いていた企画に着手することに。そして生まれた5年ぶりの作品『うつくしい人生』は、現代フランスを舞台に日常の小さな奇跡をちりばめながら自分らしさの発見という永遠のテーマを描き出し、人々の胸にあたたかく力強い感動を呼びおこした。オーケルな光で美しい自然を丁寧に汲み上げるのは、日本人カメラマン、テツオ・ナガタ。心に沁み入る音楽は、大島渚監督の『マックス・モン・アムール』(86)など多くの作品を手がけたベテラン、ミシェル・ポルタルと、琴奏者ブライアン・ヤマコシが担当。即興演奏によって映像に神秘的な余韻を残している。本作は1999年のサンセバスチャン映画祭において圧倒的な支持を得て、見事にグランプリを受賞。監督デュベイロンのあたらしい人生すら予感させてくれるみずみずしい復帰作となった。

惹かれあい響きあう、俳優たち。ニコラ役には1967年生まれのエリック・カラヴァカ、ニコラをやさしく導いていく祖父役には1914年生まれのジャック・デュフィロ。この二人の共鳴しあう演技によって、カラヴァカはセザール賞最優秀新人男優賞、デュフィロはサンセバスチャン映画祭最優秀男優賞を受賞した。そして、ニコラが恋に落ちるマリア役のイザベル・ルノー。カトリース・ブレイヤ監督の『墮ちてゆく女』(96)で広く認知された彼女は、巨匠テオ・アンゲロプロス監督の『永遠と一日』(98)で大役を好演。本作では特徴的な美しい瞳と凛とした表情に深み加わり、大人の女性ならではの柔らかな魅力で映画を包みこむ。また、セドリック・クラピッシュ監督の『家族の気分』(96)でセザール賞を受賞した名脇役ジャン・ピエール・ダルッサンの厚みのある存在感が、父と息子の交流を味わいゆたかに物語っている。



## 2002年新春第2弾 しあわせの予感があなたをつつむ。

特別鑑賞券 ¥1,500(税込)好評発売中 (当日料金:一般¥1,800)

●劇場窓口、CINE CITYにてお求めの方に、実りと香りのサシェ(限定300名様) & よろこび運ぶポストカードを進呈いたします。

新宿武蔵野館  
シネマ・カリテ

JR 新宿駅中央東口三越ウラ 新宿武蔵野館 3F  
03-3354-5670 <http://www.musashino-ko.jp>  
各回定員入替制